

1 4 入善町 (2校)

チャレンジ10通信

- ・ 飯野小学校
- ・ 桃李小学校

学校名	入善町立飯野小学校		
担当教諭	松木 有紗 先生 高橋 郁美 先生 山崎 英政 先生	担当推進員	佐藤 幸雄 さん
取組み期間	令和元年 7 月 29 日～9 月 1 日	参加児童数	43 人

環境チャレンジ教室（前編）

○日 時 令和元年 7 月 5 日（金）13：55～14：40

○使用教材

独自に作成した資料

○説明内容など

- ・チャレンジ 10 について・「地球温暖化」について説明。
- ・1℃上昇した影響について説明
- ・地球温暖化の原因である二酸化炭素について説明
- ・3R 及び食品ロスについて説明
- ・とやまチャレンジ 10 の取り組みについて説明

環境チャレンジ教室（後編）

○日 時 令和元年 2 月 4 日（金）11：35～12：20

○使用教材

自作パワーポイント

○説明内容など

- ・口頭による説明（パワポの画面を使用）
- ・チャレンジ 10 通信報告内容の説明。
- ・前期授業の一部、復習した。
- ・二酸化炭素について地球上の二酸化炭素について簡単な実験（二酸化炭素は水に溶ける。）を行った。（全員）
- ・チャレンジ 10 の継続の大切さを説明。

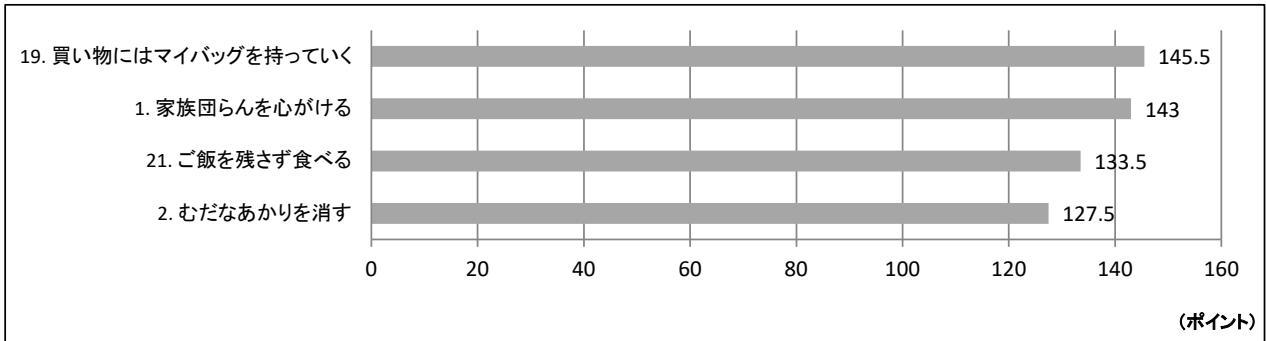
推進員から児童のみなさんへのメッセージ

チャレンジ 10 は夏休みだけの取組ではありません。自分たちができることを、一つひとつ続けていくことが大切です。これからも楽しく地球温暖化防止の活動に取り組んで欲しいです。

飯野 小学校のみなさんへ

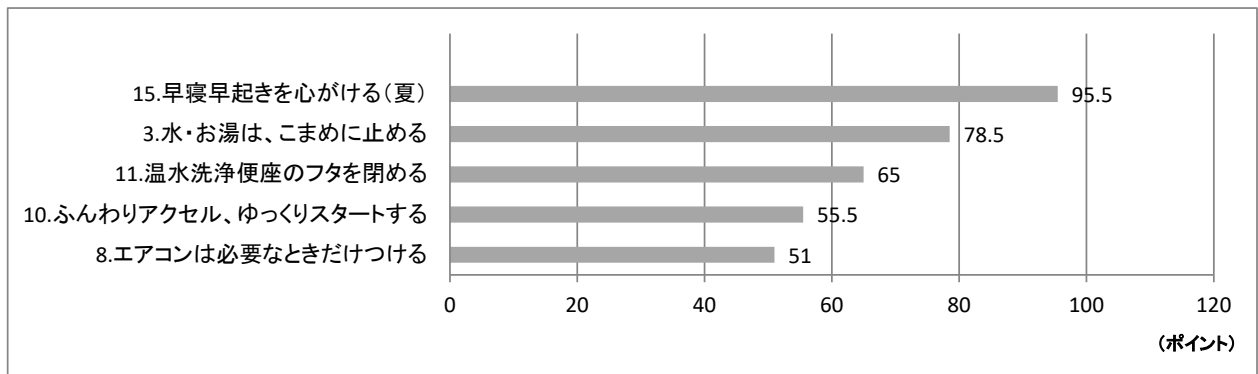
みなさんが、がんばってとりくんだチャレンジ10の結果をまとめましたので、おしらせします。

1. 「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング（※ポイント制）



※ポイント制：「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント、「できなかった」を0ポイントとして計算

「えらんでチャレンジ」がんばり度ベスト5（ポイント制）



2. みんなでへらした地球をあたためるガス（二酸化炭素） 約 1,575 kg

とりくみの効果（目安）



■ サッカーボールで例えると・・・

約 157,491 個分

※サッカーボール1個（体積）は、二酸化炭素約10gに相当。



■ 杉の木で例えると・・・

約 113 本分

※大きく成長した杉の木（50年で高さが20～30m）は1年間で平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとされています。（参考：地球温暖化防止ポータルサイト）



■ 節約できた金額は・・・

約 151,837 円

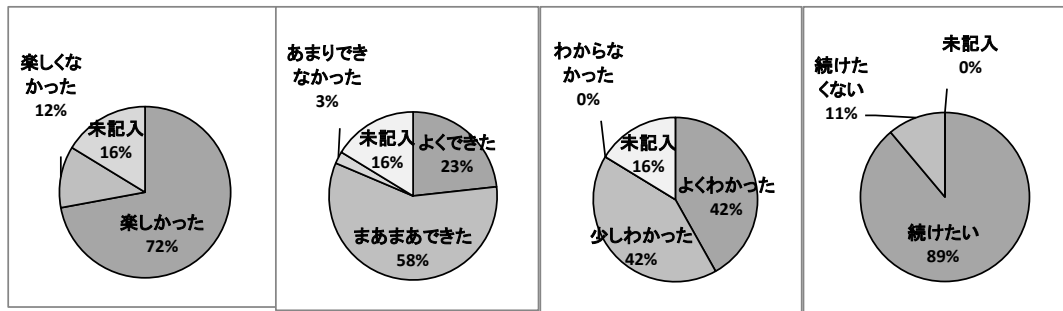
3. 工夫したこと、独自のとりくみ

○工夫したこと	○独自のとりくみ
<ul style="list-style-type: none"> エアコンをあまり使わないで、扇風機などを使うようにした。 時々家族で集まって、話すようになった。 スマホやゲームなどの充電が終わったら、コンセントをぬいた。 とりくみノートを家族みんなで見るようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 出かける時は、水とうをもつ。 資源になる物は、資源ごみに出す。

など

4. ふりかえり

- ①とやま環境チャレンジ10は、楽しかったですか？
 ②選んだとりくみは、4週間よくできましたか？
 ③地球温暖化は、どのような問題わかりましたか？
 ④これからも地球温暖化を止めるとりくみを続けていきますか？

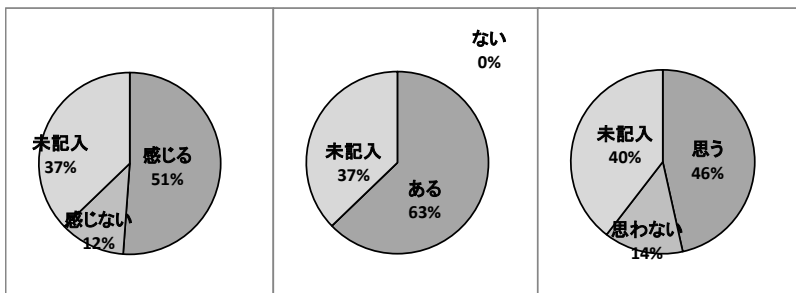


感想やがんばりたいこと

- ・早寝早起きをがんばりたい。
- ・家族で話し合ったり、声をかけ合ったりして、4週間楽しめたのでよかったです。
- ・地球温暖化がよくわかった。
- ・目標を達成できてよかったです。この取り組みはすごいと思います。
これからも地球温暖化対策に取り組めればよいと思います。
- ・地球温暖化を防げるようにしたいので、がんばりたいです。
- ・風力発電を勉強したい。

5. ご家族の方へのアンケート

- ①地球温暖化に対する意識が高まったと思いますか？
 ②習慣化した取り組みがありませんか？
 ③チャレンジ10の取り組みにより、家計の節約になったと思いますか？



感想や意見

- ・日中、エアコンを使わずに窓を開けたり、扇風機をつけたりして過ごしてくれたので、とても電気代の節約になりました。
- ・声をかけ合うことでコミュニケーションになり、楽しみながら取り組めたのが良かったと思う。
- ・チャレンジ10を取り組んだことで、今まで気にしていなかったことを意識するようになり、子供がすすんで取り組んでくれて地球温暖化に対する意識が高まりました。
- ・この取り組みのおかげで、子供達の意識が高まりうれしく思います。
- ・エアコンをつける台数を減らすために同じ部屋にるようにして、結果、家族団らんができた。

これからもチャレンジ10のとりくみをつづけましょう！



学校名	入善町立桃李小学校		
担当教諭	寺崎 和也 先生 安達 秋美 先生 徳本 里歩 先生	担当推進員	永井 隆 さん
取組み期間	令和元年 7 月 29 日～8 月 25 日	参加児童数	22 人

環境チャレンジ教室（前編）

○日 時 令和元年 6 月 20 日（木） 11：30～12：15

○使用教材

手回し発電機・蛍光灯・白熱電球比較器

○説明内容など

- ・昔と比べると平均何度上昇した？（クイズ）
- ・温暖化の原因は？
- ・CO₂は何故増えた？（動画）
- ・温暖化が自然や人間などに及ぼしている影響（動画）
- ・食品ロスについて
- ・クールチョイスクイズ
- ・チャレンジ 10 への参加方法の説明
- ・環境大臣の任命

環境チャレンジ教室（後編）

○日 時 令和元年 10 月 9 日（水） 9：30～10：15

○使用教材

独自に作成した資料

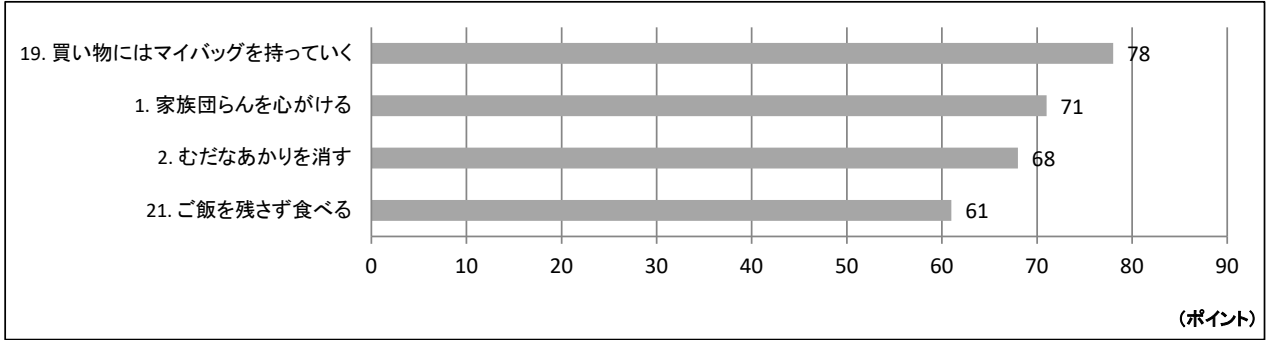
○説明内容など

- ・チャレンジ 10 取組の振り返り
- ・2100 年未来の天気予報
- ・クイズ 2 問：地球上に CO₂の有無時の気温は？
- ・CO₂は良いやつ？悪いやつ？
- ・「森は海の恋人」
- ・電気を使うと何故 CO₂が発生するの？
- ・CO₂を減らすために。地球温暖化に備えるには。
- ・クールチョイスクイズ

桃李 小学校のみなさんへ

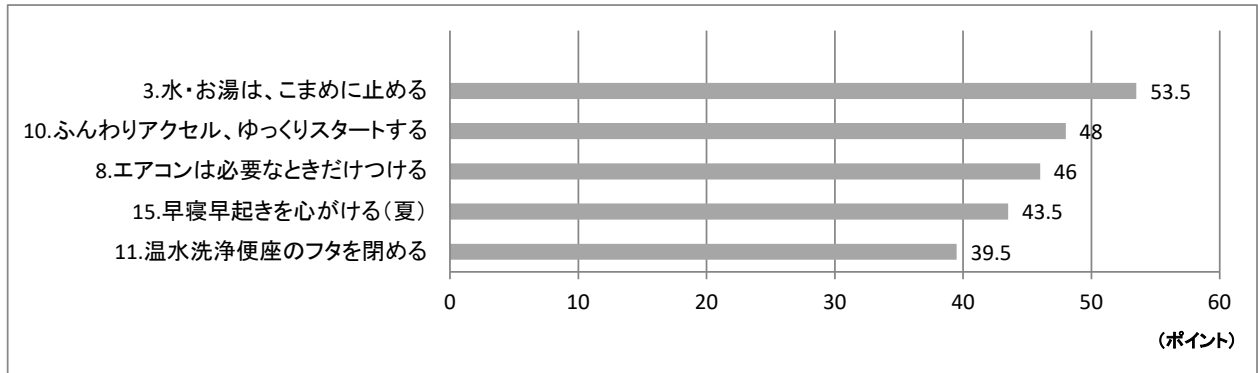
みなさんが、がんばってとりくんだチャレンジ10の結果をまとめましたので、おしらせします。

1. 「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング（※ポイント制）



※ポイント制：「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント、「できなかった」を0ポイントとして計算

「えらんでチャレンジ」がんばり度ベスト5（ポイント制）



2. みんなでへらした地球をあたためるガス（二酸化炭素） 約 868 kg

とりくみの効果（目安）



■ サッカーボールで例えると・・・

約 86,753 個分

※サッカーボール1個（体積）は、二酸化炭素約10gに相当。



■ 杉の木で例えると・・・

約 62 ほんぶん本分

※大きく成長した杉の木（50年で高さが20～30m）は1年間で平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとされています。（参考：地球温暖化防止ポータルサイト）



■ 節約できた金額は・・・

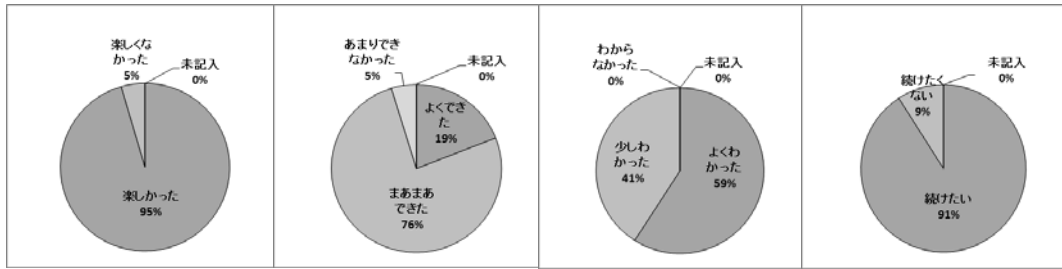
約 62,594 円

3. 工夫したこと、独自のとりくみ

工夫したこと	独自のとりくみ
<ul style="list-style-type: none"> なるべくゴミを出さないようにした。 明るい時間には窓を開けて電気はつけない。 洗面器に水をためて使った。 家族みんなで協力した。 	<ul style="list-style-type: none"> 冷蔵庫を長い間開けない。
など	など

4. ふりかえり

- ①とやま環境チャレンジ10は ②選んだとりくみは、4週間 ④地球温暖化は、どのような ⑤これからも地球温暖化を止
たの 楽しかったですか？ よくできましたか？ 問題わかりましたか？ めるとりくみを続けていきま
すか？

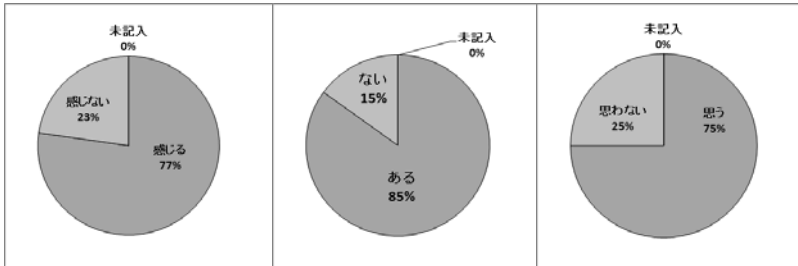


〇感想やがんばりたいこと

- 地球温暖化を止められるように頑張りたいです。
- これからもチャレンジ10を頑張りたいです。
- ご飯は残さず食べます。
- 温暖化になると野菜がとれなくなるので地球温暖化を止めたいです。
- 早寝早起きを心がけたいです。
- ゴミを出さないようにします。
- 地球温暖化のために電気を使わない道具を考えたいです。
- 温暖化のことをもっと知りたいです。

5. ご家族の方へのアンケート

- ①地球温暖化に対する意識は高まったと思いますか？ ②習慣化した取組みがありますか？ ③チャレンジ10の取組みにより、家計の節約になったと思いますか？



〇感想や意見

- 水の出しっぱなしが多かったが、「使い終わったらすぐ止める」が意識づけされたようです。
- みんなで声かけをしたり、このような取り組みがあったおかげで意識することができた。
- 家族みんなで協力し合ったことが良かった。
- 定期的に評価をすることで、忘れそうになるのを再認識するだけでなく、家族で環境活動の会話をするきっかけになりよかったです。
- 子どもたちを中心に大人も意識を高め、省資源・省エネをずっと続けていきたいです。
- 今回だけでなく、小さな積み重ねが大切だと思うので継続していきたいです。

これからもチャレンジ10のとりくみをつづけましょう！

